

## オーストラリア金融政策(2018年7月)

～政策金利は据え置き。オーストラリア経済は堅調さを維持～

2018年7月3日

### お伝えしたいポイント

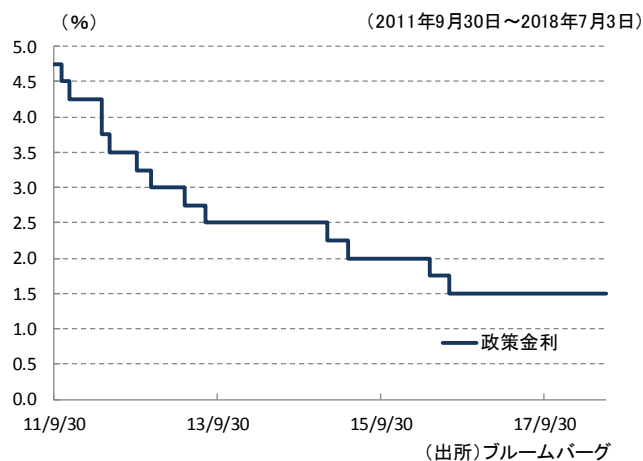
- RBA(オーストラリア準備銀行)は政策金利を1.5%に据え置き
- 2018年1-3月期のGDPは市場予想を上回り、景気拡大の世界最長記録を更新
- 豪ドルは外部要因によって左右される展開が続きやすいが、長期的には底堅い推移を見込む

### <RBAは政策金利を1.5%に据え置き>

2018年7月3日(現地)、RBA(オーストラリア準備銀行)は政策金利を1.5%に据え置くと発表しました。据え置きは事前の市場予想通りでした。

声明文では、米国の通商政策の方向性が世界経済の見通しに不確実性をもたらすとしながらも、引き続き低金利政策がオーストラリア経済を下支えすると述べました。こうした中で、失業率の低下とインフレ目標の達成に向けた進展が期待されるものの、その進展は緩やかなものになる可能性が高いとし、当面の政策金利の据え置きが示唆されています。

### 《政策金利の推移》



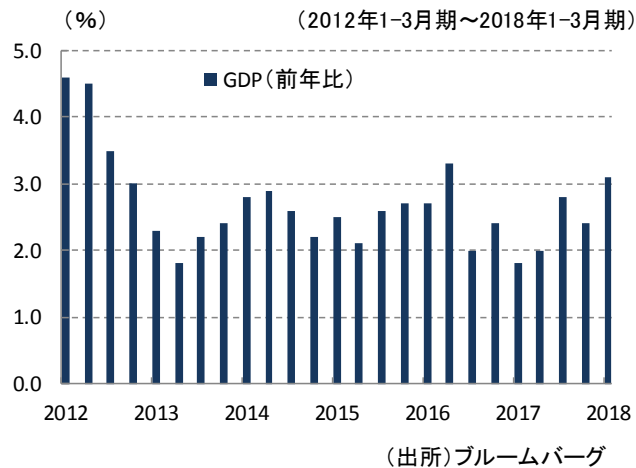
※後述の「当資料のお取り扱いにおけるご注意」をよくお読みください。

## <2018年1-3月期のGDPは市場予想を上回り、景気拡大の世界最長記録を更新>

2018年1-3月期のGDP(国内総生産)は市場予想を上回り、前期比+1.0%、前年比+3.1%となりました。非資源部門の企業の設備投資の増加や、悪天候のため落ち込んでいた輸出がその反動で増加したことなどが、成長率の押し上げに寄与しました。今回の結果は、2018年と2019年に平均して前年比+3%を幾分上回るペースで経済が成長するというRBAの景気見通しに自信を与えるものとみられます。

オーストラリアの景気拡大期間はこれで107四半期におよび、景気拡大の世界最長記録を更新しています。今後についても、インフラ(社会基盤)投資の拡大や、液化天然ガス(LNG)を中心とした資源輸出の増加などを背景に、オーストラリア経済は引き続き堅調に推移することが見込まれます。

### 《GDPの推移》



## <豪ドルは外部要因によって左右される展開が続きやすいが、長期的には底堅い推移を見込む>

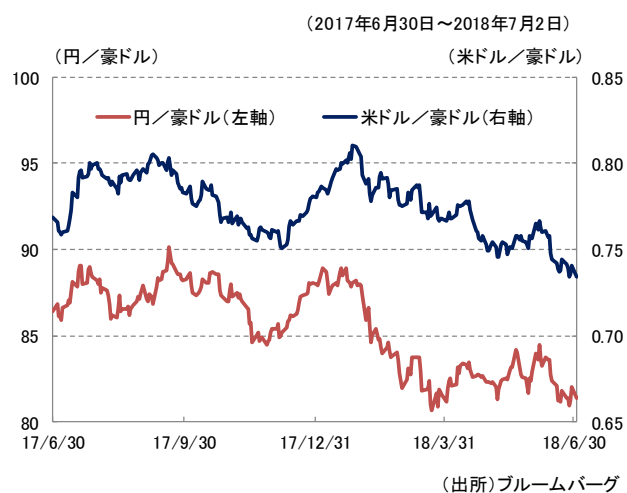
オーストラリア経済が堅調さを維持している一方で、賃金上昇率が伸び悩んでいることなどからインフレ率が上昇するにはしばらく時間を要するものと思われ、RBAが利上げへと動きにくい状況が続いています。

足元の豪ドルについては、米中貿易戦争への懸念によって市場のセンチメントが悪化したことを受けて、対米ドルで軟調な推移となっています。

RBAの金融政策が材料になりにくい環境の中では、今後も豪ドルは外部要因に左右される展開が続きやすいとみられます。しかし長期的には、労働市場の改善を通じてインフレ圧力が高まることでRBAの利上げ観測が高まり、豪ドルは底堅く推移するものと見込んでいます。

以上

### 《為替の推移》



※後述の「当資料のお取り扱いにおけるご注意」をよくお読みください。

## <ご参考> 当社の関連リサーチ

### ◇マーケットレター

- ・オーストラリア金融政策(2018年6月)～政策金利は据え置き。財政黒字化の達成時期は1年前倒しに～(2018/6/5)  
[http://www.daiwa-am.co.jp/market/html\\_ml/ML20180605\\_1.html](http://www.daiwa-am.co.jp/market/html_ml/ML20180605_1.html)
- ・オーストラリア金融政策(2018年5月)～政策金利は据え置き。企業の景況感は改善が進む～(2018/5/1)  
[http://www.daiwa-am.co.jp/market/html\\_ml/ML20180501\\_1.html](http://www.daiwa-am.co.jp/market/html_ml/ML20180501_1.html)
- ・オーストラリア金融政策(2018年4月)～政策金利は据え置き。オーストラリアは景気拡大の世界最長記録をさらに更新～(2018/4/3)  
[http://www.daiwa-am.co.jp/market/html\\_ml/ML20180403\\_1.html](http://www.daiwa-am.co.jp/market/html_ml/ML20180403_1.html)
- ・ニュージーランド出張報告(2018年3月)～新政権への注目が集まるニュージーランドの「今」～(2018/3/28)  
[http://www.daiwa-am.co.jp/market/html\\_ml/ML20180328\\_1.html](http://www.daiwa-am.co.jp/market/html_ml/ML20180328_1.html)
- ・オーストラリア出張報告(2018年3月)～インフラ投資に沸くオーストラリア経済の「今」～(2018/3/20)  
[http://www.daiwa-am.co.jp/market/html\\_ml/ML20180320\\_1.html](http://www.daiwa-am.co.jp/market/html_ml/ML20180320_1.html)
- ・オーストラリア金融政策(2018年3月)～労働市場は改善も政策金利は当面据え置きの見込み～(2018/3/6)  
[http://www.daiwa-am.co.jp/market/html\\_ml/ML20180306\\_1.html](http://www.daiwa-am.co.jp/market/html_ml/ML20180306_1.html)
- ・オーストラリア金融政策(2018年2月)～CPI上昇率が緩やかな加速にとどまる中、政策金利は当面据え置きの見込み～(2018/2/6)  
[http://www.daiwa-am.co.jp/market/html\\_ml/ML20180206\\_3.html](http://www.daiwa-am.co.jp/market/html_ml/ML20180206_3.html)
- ・オーストラリア金融政策(2017年12月)～政策金利は据え置き。RBAは低金利政策を続けながら、景気・物価の改善を待つ～(2017/12/6)  
[http://www.daiwa-am.co.jp/market/html\\_ml/ML20171206\\_1.html](http://www.daiwa-am.co.jp/market/html_ml/ML20171206_1.html)
- ・オーストラリア金融政策(2017年11月)～政策金利は据え置き。インフレ率の低迷から当面の政策金利は据え置きを見込む～(2017/11/7)  
[http://www.daiwa-am.co.jp/market/html\\_ml/ML20171107\\_1.html](http://www.daiwa-am.co.jp/market/html_ml/ML20171107_1.html)
- ・オーストラリア訪問記～鉱石大国の今をみた～(2017/11/2)
- ・オーストラリア金融政策(2017年10月)～政策金利の据え置きを継続～(2017/10/3)  
[http://www.daiwa-am.co.jp/market/html\\_ml/ML20171003\\_1.html](http://www.daiwa-am.co.jp/market/html_ml/ML20171003_1.html)
- ・オーストラリア金融政策(2017年9月)～政策金利は据え置き、賃金の伸びはいまだ低調も今後期待～(2017/9/5)  
[http://www.daiwa-am.co.jp/market/html\\_ml/ML20170905\\_2.html](http://www.daiwa-am.co.jp/market/html_ml/ML20170905_2.html)

### 当資料のお取り扱いにおけるご注意

■当資料は、ファンドの状況や関連する情報等をお知らせするために大和投資信託により作成されたものであり、勧誘を目的としたものではありません。■当資料は、各種の信頼できると考えられる情報源から作成していますが、その正確性・完全性が保証されているものではありません。■当資料の中で記載されている内容、数値、図表、意見等は当資料作成時点のものであり、将来の成果を示唆・保証するものではなく、また今後予告なく変更されることがあります。■当資料中における運用実績等は、過去の実績および結果を示したものであり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。■当資料の中で個別企業名が記載されている場合、それらはあくまでも参考のために掲載したものであり、各企業の推奨を目的とするものではありません。また、ファンドに今後組み入れることを、示唆・保証するものではありません。

販売会社等についてのお問い合わせ⇒大和投資信託 フリーダイヤル 0120-106212(営業日の9:00～17:00) HP <http://www.daiwa-am.co.jp/>